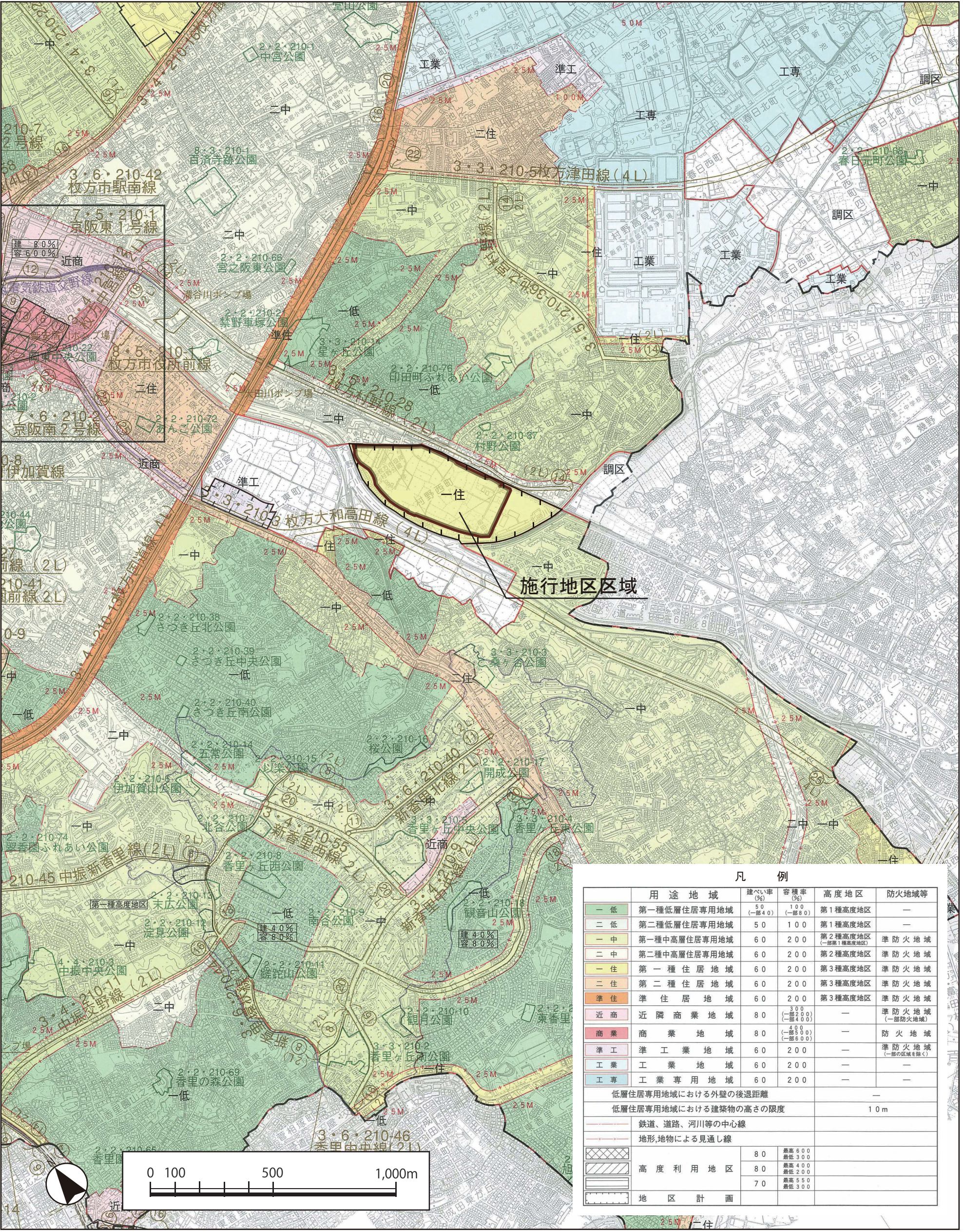




凡 例				
	用 途 地 域	建ぺい率 (%)	容 積 率 (%)	高度地区 防火地域等
一低	第一種低層住居専用地域	50 (一部40)	100 (一部80)	第1種高度地区 —
二低	第二種低層住居専用地域	50	100	第1種高度地区 —
一中	第一種中高層住居専用地域	60	200	第2種高度地区 (一部第1種高度地区)
二中	第二種中高層住居専用地域	60	200	第2種高度地区 準防火地域
一住	第一種住居地域	60	200	第3種高度地区 準防火地域
二住	第二種住居地域	60	200	第3種高度地区 準防火地域
準住	準住居地域	60	200	第3種高度地区 準防火地域
近商	近隣商業地域	80 (一部40)	300 (一部200)	— 準防火地域 (一部防火地域)
商業	商業地域	80 (一部500)	400 (一部600)	— 防火地域
準工	準工業地域	60	200	— 準防火地域 (一部の区域を除く)
工業	工業地域	60	200	— —
工専	工業専用地域	60	200	— —
低層住居専用地域における外壁の後退距離				—
低層住居専用地域における建築物の高さの限度				10 m
鉄道、道路、河川等の中心線				
地形、地物による見通し線				
	高度利用地区	80	最高600 最低300	
		80	最高400 最低200	
		70	最高550 最低300	
	地区計画			

凡 例	
	施行地区区域